

2019春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

N o . 2 3

2019年2月21日

日本鉄道労働組合連合会

J R 連 合 四 国 地 協 第 27 回 定 期 委 員 会 JR四国グループで働く仲間の賃金引き上げをめざす！

J R 連 合 四 国 地 方 協 議 会 (四 国 地 協) は 2 月 16 日、高松市内にて「安全最優先の取り組みの深度化、政策課題の解決・前進を図るべく、そして民主化闘争の完遂・J R 労働界の一元化に向けて J R 連 合 総 が かりの運動を強く広く展開しよう！」をスローガンに掲げ、第 27 回定期委員会を開催した。J R 四 国 労 組、四 国 K I O S K 労 組、四 国 メ ン テ ナ ンス 労 組、ホ テ ル ズ ユ ニ オ ン、四 万 十 ユ ニ オ ン、徳 島 駅 ビ ル ユ ニ オ ンの代議員ら総勢 60 名が出席し、2019 春季生活闘争をはじめ、「安全・安定・安心輸送の確立」「政策課題解決」の取り組みなどを積極的に推進するとともに、統一地方選挙および参議院議員選挙での必勝に向け、全力で取り組むとした 2018 年度活動方針を、満場一致で決定した。

冒頭、執行部を代表して中濱齊議長 (J R 連 合 副 会 長 ・ J R 四 国 労 組 委 員 長) が挨拶にたち、J R 連 合 四 国 地 協 の 任 務 と 役 割 に つ い て 説 い た う え で、安全の取り組み、2019 春季生活闘争、政治活動の取り組みの 3 点について考えを述べた。J R 連 合 から 中 山 耕 介 組 織 ・ 政 治 部 長 が 出 席 し た。

議事では、執行部より活動報告と 2018 年度の活動方針 (案) を提案、委員からの発言により活動方針を肉付けし、すべての議案が満場一致で採択された。併せて、新たな役員体制についても確認した。

2019春季生活闘争を取り巻く諸課題を共有

また、委員会に併せて「2019 春闘討論集会」を開催し、グループ労組を含め約 90 名が出席した。J R 連 合 から、2019 春季生活闘争を取り巻く情勢として、長時間労働の是正や同一労働同一賃金の実現にむけた法改正等の動きとその対応について報告した後、執行部が四国地協の 2019 春季生活闘争方針を説明した。連合および J R 連 合 の 方 針 を 基 本 に、定期昇給の確保とベースアップを含む月例賃金総額の引き上げ、ワーク・ライフ・バランスの実現に資する要求を盛り込み総合生活改善に取り組む方針を示した。グループ労組から複数の発言もあり、J R 四 国 グループで働く仲間が一丸となって今春闘に取り組むことを確認し合い、最後に中濱議長の力強い団結ガンバローで閉会した。

以 上